

# 企業研究者へのすすめ

富士ゼロックス(株)  
システム要素技術研究所  
所長 山崎 徹(1972年卒)

# 今日の話

---

1. 研究とは何か、企業とは何か
2. 企業研究者とはどういう職業か
3. 私の履歴書

# 研究とは

---

研究＝「研ぎすまし究める」

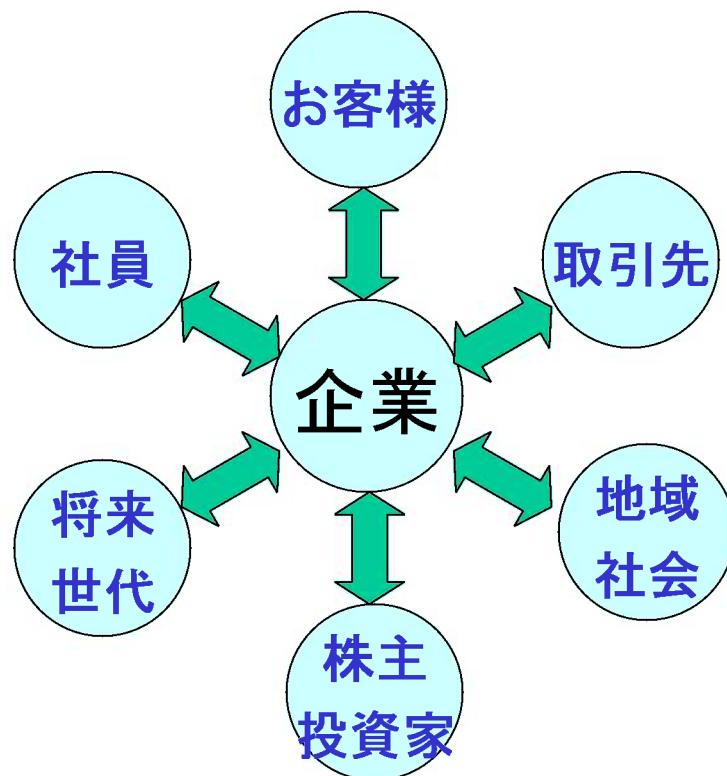
ある特定の物事について、人間の知識を集めて考察し、実験、観察、調査などを通して調べて、その物事についての事実を深く追求する一連の過程のことである。  
(Wikipedia)

→発見・発明を行うこと

→理科系・文科系両方に研究はある

# 企業（～会社）とは

営利を目的として一定の計画に従って経済活動を行う  
経済主体である。（Wikipedia）



株主・投資家の資金をもとに、  
取引先とも連携し、  
社員が力を合わせて、  
価値ある商品を生み出し、  
お客様にその価値を届ける。

お客様から得た利益は、  
株主・投資家、取引先、社員、  
だけで分け合うのではなく、  
税金や社会貢献・環境対策として  
地域・社会や将来世代で分け合う。

→価値ある商品による社会へのお役立ち

# 企業研究者とは

---

社内(外)研究者と力を合わせて、  
商品に新しい価値を与える発見・発明を行い、  
商品開発チームが使える形(=技術)にする。

→知識体系の構築が目的の学術研究とは異なり、商品  
に新しい価値を与える技術の確立が目的

→異分野(含文科系)の研究者とのチームワークが重要  
例:言語処理=言語学+コンピュータ科学

# 言語処理に関する国際的な共同研究

## ParGram (Parallel Grammar) プロジェクト:

多言語の意味解析システムを構築する研究団体で、年2回の定期会議を開催

言語研究者とコンピュータ研究者が、以下の2つを共有して、共同研究、会議への共同参加

**LFG (Lexical Functional Grammar)** : 文法理論

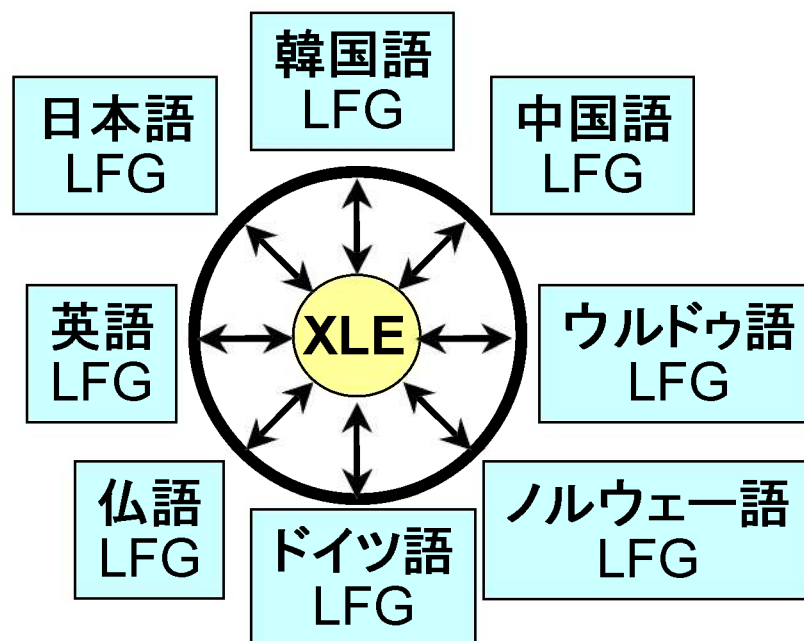
**XLE (Xerox Linguistic Environment)** : システム

### ゼロックス・グループ

日本 : 富士ゼロックス  
アメリカ : ゼロックス

### その他

ドイツ:  
ストゥツガルト大学  
イギリス:  
オックスフォード大学  
エセックス大学  
ノルウェー:  
ベルゲン大学  
など.



## 私の履歴書(1)

---

1953年、島根県松江市奥谷町に生まれる。  
北堀小学校、松江一中卒

# 小学校・中学校時代

---

## 主にやったこと

スポーツ

{ 剣道(小学校)

{ バスケットボール(中学校)

## 身についた事

体力

チームワーク推進  
(主将)

粘り

(限界を超え続ける)





## 私の履歴書(2)

---

1953年、島根県松江市奥谷町に生まれる。  
北堀小学校、松江一中(バスケットボール部)卒  
松江北高(理数科)卒

# 高校時代

---

## 主にやったこと

勉強

## 身についた事

再び、粘り

(長時間考える力)

違う視点から考える力

(別解)

国語力

(通信添削)



## 私の履歴書(3)

---

1953年、島根県松江市奥谷町に生まれる。  
北堀小学校、松江一中(バスケットボール部)卒  
松江北高(理数科)卒  
京都大学理学部(物理学科)卒

# 大学時代

---

## 主にやったこと

遊び

→「学生運動」華やかなりし時代

## 身についた事

趣味

(音楽、絵画、旅)



## 私の履歴書(4)

---

1953年、島根県松江市奥谷町に生まれる。  
北堀小学校、松江一中(バスケットボール部)卒  
松江北高(理数科)卒  
京都大学理学部(物理学科)卒

**1977年、富士ゼロックス(株)入社**  
**複写機の現像、デジタル画像処理の研究**

## なぜ企業？ なぜ富士ゼロックス？

### 研究費及び給料

→企業では、大学より多大な資金を研究に使う

### 小さいけれども伸び盛り

→いろいろな仕事を経験できる

### 外資系(富士フィルムとゼロックスの50:50の合弁会社)

→海外で研究ができるチャンスが多い

50%ずつなので支配関係がない(現在は75:25)

初任給が高い

# 研究者時代

## こころがけたこと

世界的研究者になる＝会社が倒産しても生きていける  
知識より知人を

## 身についた事

### 研究の基本

先行技術調査  
仮説立案  
実験  
考察



試行錯誤



「10回の試行錯誤より  
100回の試行錯誤」

## 私の履歴書(5)

---

1953年、島根県松江市奥谷町に生まれる。  
北堀小学校、松江一中(バスケットボール部)卒  
松江北高(理数科)卒  
京都大学理学部(物理学科)卒  
1977年、富士ゼロックス入社  
複写機の現像、デジタル画像処理の研究  
言語処理、知識処理分野の研究マネージャ



# なぜ研究マネージャ？

---

上司のすすめ

→「(異なる分野の)研究マネージャをやってくれ」

自分の適性判断(「向いている」「できる」)

→狭い分野の専門家より、広い分野のリーディング

→チームワーク推進の経験

→学んできた研究の基本はどの分野でも同じである！

# 研究マネージャ時代

---

## こころがけたこと

部下に成功体験を持たせる

ヒットを打ち続ける

(小さくても商品に繋がる技術を確立し続ける)

## 身についた事

リーダーシップ

(部下をたて、言うことに耳を傾ける)

バランス感覚

(上司と部下)

## 私の履歴書(6)

---

1953年、島根県松江市奥谷町に生まれる。

北堀小学校、松江一中(バスケットボール部)卒

松江北高(理数科)卒

京都大学理学部(物理学科)卒

1977年、富士ゼロックス入社

複写機の現像、デジタル画像処理の研究

言語文書処理、知識処理分野の研究マネージャ

1998年—2001年、米国シリコンバレーにある

富士ゼロックス米国研究所に駐在

# 米国研究所駐在時代

---

## こころがけたこと

実際の仕事をとおして、“シリコンバレー流”研究を学ぶ  
(研究所長の研究管理手法、研究者の研究方法を学ぶ)

## 身についた事

異文化コミュニケーション  
スピード  
(どこでも仕事)



## 私の履歴書(7)

---

1953年、島根県松江市奥谷町に生まれる。

北堀小学校、松江一中(バスケットボール部)卒

松江北高(理数科)卒

京都大学理学部(物理学科)卒

1977年、富士ゼロックス入社

複写機の現像、デジタル画像処理の研究

言語文書処理、知識処理分野の研究グループリーダー

1998年—2001年、米国シリコンバレーにある

富士ゼロックス米国研究所に駐在

2003年、IT関連研究所所長、現在に至る

# 研究所長として

---

## こころがけていること

H/WとS/Wの融合（日本とアメリカの得意分野の融合）

一体感の醸成

人材の育成（人は城、人は石垣：武田信玄）

自分を信じる

## （今までに）身についた事

再び、**スピード**

（少ない情報での決断）

再び、**バランス感覚**

（日本とアメリカ、短期と長期）

# 企業研究者へのすすめ

企業研究者は、

## 企業研究者とは

FUJI xerox 

社内(外)研究者と力を合わせて、  
商品に新しい価値を与える発見・発明を行い、  
商品開発チームが使える形(=技術)にする。

- 知識体系の構築が目的の学術研究とは異なり、商品に新しい価値を与える技術の確立が目的
- 異分野(含文科系)の研究者とのチームワークが重要  
例:言語処理=言語学+コンピュータ科学

5

社内外の仲間と共に学び成長し、社会に役立つ新しい技術(=夢)を実現できる職業。